

1 概要

(1) 日時、場所

2月19日(木) 9:30~17:00 2月20日(金) 9:30~17:00 尼崎キャンパス KUIS ホール他

(2) テーマ

関西国際大学の「今」と「10年後」～国際大学としてのブランディングと戦略～

◆テーマ設定の理由◆

今年度のFD研修会では、第1回から今回まで一貫したテーマを掲げている。本学では、10年後の生き残りは無論、発展を目指して、特に国際大学としてのブランディングに焦点を当てて取り組んでいくことが必須である。ACPの発足は新たな第一歩である。

一方、本学の教育活動の改善に関しては、不断の努力を積み重ねていくことが重要である。学生たちが「ここだからこそできるようになった」と誇りを持って言える教育を展開するために、また組織的な教育力のさらなる向上と教員個々の力量を高めていくために、教職員一丸となってFD活動を推進していく必要がある。今回は、これまでの本学の教育改革の流れを目標―内容―評価の軸で振り返り、現状と課題を明らかにした上で、組織的な取り組みとしての科目統合化について志向し、学生の自己効力感を高めるために具体的な教育内容や評価の方法について研鑽を深める。

(3) 到達目標

- ・ IRデータをもとに、本学及び本学学生の現状と課題について全教職員が的確に理解する。
- ・ 目標―内容―評価を軸にした、これまでの本学の教育改革の流れと現在の位置を確認し、組織的教育のアプローチの重要性について確認する。
- ・ 「学期の主題」に基づく科目統合化について、その意義と内容を理解し、2015年度以降に推進していくための意思統一と具体的な計画(目標・内容・評価)を立案する。
- ・ 本学学生の自己効力感の状況を把握し、その向上のためのコーチング力を、具体的なワークを通して身につける。
- ・ 手法としてのアクティブ・ラーニングにつながる「反転授業」の実践に触れることを通して、個々教員が自らの授業に生かしていくための着想を得る。
- ・ カリブレーション・ワーク(評価の標準化ワーク)に取り組むことによって、評価についての摺り合わせを行い、自らの評価の傾向を自覚する。
- ・ eポートフォリオ活用のガイドラインとシステム変更の内容について理解し、アセスメントツールとしてのみならず、授業における学習・教育プロセスのマネジメントへの活用の視点を得る。
- ・ 問題解決力を育てるキャリア教育の展開について理解し、実践のための視点を得る。
- ・ 特に評価の点におけるシラバス記述を検証し、客観性と公平性が担保され、学生にとってガイドとなり明確な指針となるものに改善する。

2 プログラム

1 日目

午前

開会：2日間の趣旨説明及び1日目の内容と目標
〈松岡宏明高等教育研究開発センター長〉[09:30-09:40] (10 min.)

プログラム①【overviewセッション】
「IRデータからみる本学の現状と課題」
〈藤木清評価センター長〉[09:40-10:25] (45min.)

プログラム②【overviewセッション】
「本学の教育改革の流れと組織的教育を実現するためのアプローチ～目標・内容・評価～」
〈濱名篤学長〉[10:25-11:05] (40min.)

・・・休憩 (10 min.)

プログラム③-1【0n-campusセッション】
『学期の主題』の設定と『振り返りとフィードバック』にむけて」・質疑
〈濱名篤学長〉[11:15-12:00] (45min.)

午後

プログラム③-2【0n-campusセッション】

ワーク：科目統合化〈山下泰生副学長、松岡宏明高等教育研究開発センター長、吉田武大高等
教育研究開発センター教育開発部門長〉
その1：イメージの共有・質疑 [13:00-13:10] (10min.)

その2：設定された「学期の主題」と自担当の各期科目との関わりの抽出、課題の構想（個人）
・質疑 [13:10-14:00] (50min.)

・・・休憩 (10 min.)

その3：設定された「学期の主題」と各期学科科目との関わりの整理（学科）・質疑と各学
科からのミニ中間発表 [14:10-15:25] (75min.)

・・・休憩 (10 min.)

その4：各期の科目間での課題調整（学科）・質疑 [15:35-16:10] (35min.)

その5:「学期の主題」に沿った課題マップの作成(学科)・各学科からの報告 [16:10-16:50]
(40min.)

まとめ:本日のまとめ、明日の予告及びアンケート記入 [16:50-17:00]
〈松岡宏明高等教育研究開発センター長〉(10 min.)

2日目

午前

開会:2日目の趣旨説明及び内容と目標
〈松岡宏明高等教育研究開発センター長〉[09:30-09:40](10 min.)

プログラム④【0n-campus セッション】
「本学学生の自己効力感の『今』と提案」
〈自己効力感向上プロジェクトメンバー〉[09:40-11:00](80 min.)

..... 休憩 (10 min.)

プログラム⑤【0n-campus セッション】
実践報告「反転授業」〈坂口隆康先生〉[11:10-11:50](40 min.)

プログラム⑥-1【0n-campus セッション】
ワーク「ルーブリックを使ったカリブレーション」〈松岡宏明高等教育研究開発センター長、
吉田武大高等教育研究開発センター教育開発部門〉
その1.レポートの採点(個人)[11:50-12:00](10 min.)

午後

その2.ライティングルーブリックを使ったカリブレーション(学科内グループ)
[13:00-13:40](40 min.)

プログラム⑥-2【0n-campus セッション】
「卒論ルーブリックの活用について」〈吉田武大高等教育研究開発センター教育開発部門〉
[13:40-13:50](10 min.)

プログラム⑦【0n-campus セッション】
「Guttman コミュニティーカレッジの実践に学ぶ」、「eポートフォリオ活用のガイドライン」、
「システム変更について」〈吉田武大高等教育研究開発センター教育開発部門、松岡宏明高等
教育研究開発センター長〉[13:50-14:45](55 min.)

..... 休憩 (10 min.)

プログラム⑧【Off-campus セッション】

「問題解決力を育成するためのキャリア教育」

〈株式会社リアセック 代表取締役 CEO 松村直樹氏〉 [14:55-15:55] (60min.)

・・・休憩 (10 min.)

プログラム⑨【On-campus セッション】

「シラバスチェック及び2013年度秋と2014年度秋のシラバス比較から～特に評価について～」

〈松岡宏明高等教育研究開発センター長〉 [16:05-16:40] (35min.)

第3回 FD 研修会総括 〈濱名篤学長〉 [16:40-16:50] (10min.)

まとめ：2日間のまとめとアンケート記入 〈松岡宏明高等教育研究開発センター長〉

[16:50-17:00] (10 min.)